

B型・C型肝炎患者医療給付事業のご案内

～愛知県は平成20年4月から肝炎のインターフェロン治療費助成を始めます～

国内最大の感染症であるB型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎は、インターフェロン治療が奏功すれば、ウイルスを除去し、その後の肝硬変、肝がんといった重篤な病態を防ぐことが可能な疾患です。

そこで愛知県では、早期治療の促進の観点から、高額であるインターフェロン治療に関する医療費を平成20年4月から助成することにより、患者の医療機関へのアクセスを改善し、将来の肝硬変・肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止、ひいては県民の健康の保持、増進を図ります。

<事業内容>

1 対象医療

この事業の対象となる医療は、B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行うインターフェロン治療で、保険適用となっているものです。

2 対象者

愛知県内に住所があり、すでに医療を受けており、保険診療の際に自己負担がある方です。

3 有効期間

保健所において申請書を受理した月の初日から1年です。

ただし、平成20年度にあつては6月30日までに受理したものについては、有効期間の始期を4月1日まで遡及することができるものとします。

4 給付内容

対象医療費の自己負担分について、公費による助成が受けられます

なお、患者の属する世帯の市町村民税額に応じて一部自己負担があります。

<患者一部負担額>

区 分		自己負担上限月額
一部負担額 (自己負担限度額)	上位所得者(税額23万5千円以上)	50,000円
	中間所得者(税額6万5千円以上、23万5千円未満)	30,000円
	下位所得者(税額6万5千円未満)	10,000円

5 申請窓口

患者の住所地を管轄する保健所が申請窓口になります。

具体的な手続きは保健所へお問合せください。

6 申請書類

以下の書類が必要になります。(申請書及び診断書は保健所で配布)

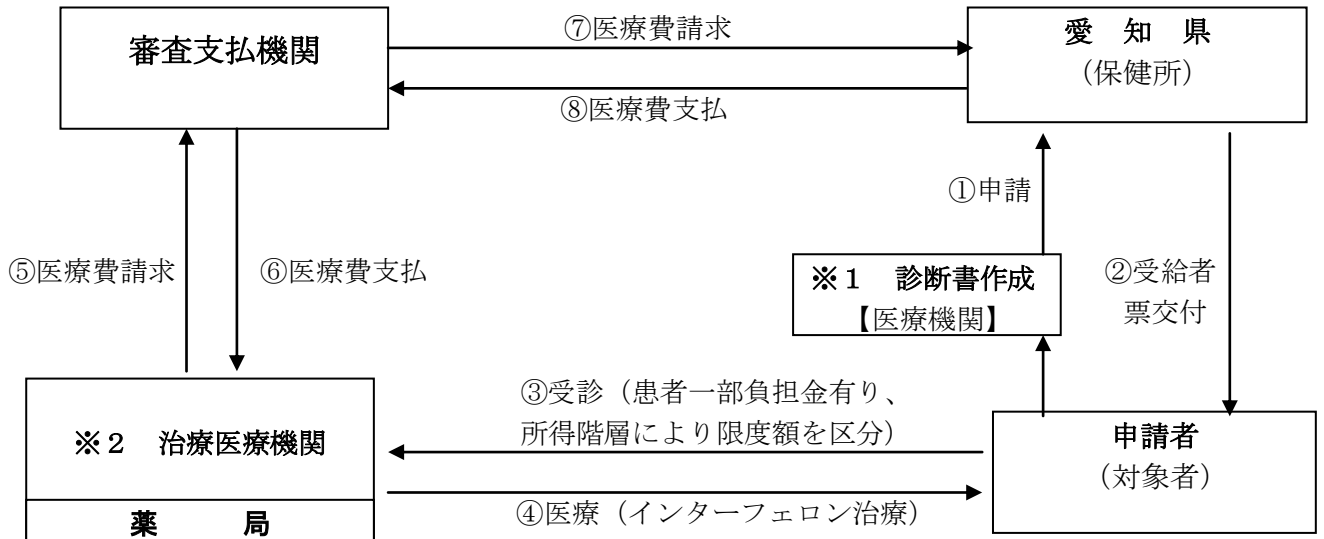
<提出書類>

- ① B型・C型肝炎患者医療給付事業申請書
- ② 診断書
- ③ 住民票の写し(世帯全員の記載のあるもの)
- ④ 市町村民税額証明書(世帯全員のもの)

7 実施医療機関

申請書に添付する診断書は**診断書作成の医療機関(※)**で交付を受けてください。
また、実際に治療する医療機関は**診断書の作成医療機関**又は**かかりつけ医**（診断書作成医療機関と連携できる医療機関）で実施してください。

《B型・C型肝炎インターフェロン治療医療給付事業の仕組み》



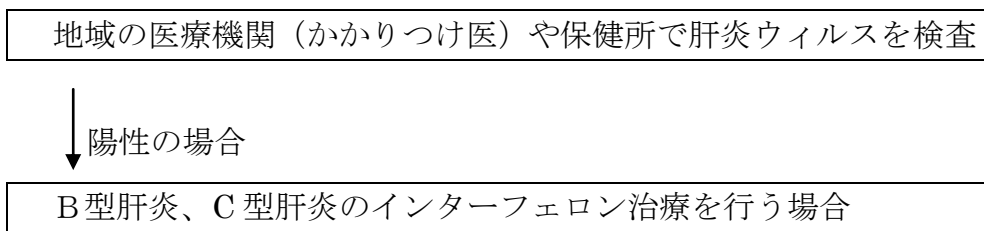
【※1 診断書作成の医療機関】

肝臓専門医や治療経験を有し県(肝疾患連携拠点病院)が実施する講習受講の消化器病専門医を配置した医療機関を、診断と治療方針の決定を行うことのできる医療機関として県が指定する。

【※2 治療医療機関】

診断書作成医療機関又はかかりつけ医（診断書作成医療機関と連携）

《B型・C型肝炎インターフェロン治療医療給付事業の事務手続きの流れ》



- ① 専門的な知識を持つ医師（県指定医療機関）の診断により診断書を作成
- ② 診断書、所得を確認できる書類等を添えて、保健所窓口に医療費助成を申請
- ③ 認定審査会
- ④ 受給者票を発行

《問合せ先》

患者の住所地を管轄する保健所又は愛知県庁健康対策課(TEL052-954-6270 直通)